



学校法人 弘徳学園
姫路大学
豊岡短期大学
こうのとり認定こども園

令和4年度 事業計画書

学校法人 弘徳学園

I 法人の概要

(1) 学園設立とあゆみ

学校法人弘徳学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体として分離・独立しました。

そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学、翌平成20年4月に「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」を増設しました。結果、本学園は独立4年目にして、姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園等を運営する学園となりました。

そして、平成26年度には地域の子育て支援のために、既存の幼稚園の他に「このとり保育園」を開園し、幼保連携型認定こども園をスタートさせましたが、この認定こども園は、子ども・子育て支援新制度による新しい幼保連携型認定こども園として平成27年度に新たに認可を受け、既存の幼稚園と保育園を廃止し新たな「このとり認定こども園」として運営しています。

本法人は、文部科学省の認可を受け、平成28年4月1日から法人等の名称を、「学校法人近畿大学弘徳学園」から「学校法人弘徳学園」、大学名を「近大姫路大学」から「姫路大学」、短期大学名を「近畿大学豊岡短期大学」から「豊岡短期大学」に変更するとともに、法人本部所在地を豊岡キャンパスから姫路キャンパスへ移しました。

平成29年4月に「姫路大学大学院看護学研究科」を開設。平成30年11月に同研究科博士後期課程への専攻課程変更の認可を受け、平成31年4月開設しました。

豊岡短期大学は平成31年4月に豊岡短期大学姫路キャンパスを開設し、現在豊岡と姫路の2キャンパス制で運営しています。

令和元年11月には、地域の子どもから高齢者まで健康と発達の向上にむけた研究、支援開発を行う「姫路大学附属健康・教育実践研究センター」を設立しました。

また、将来構想の実現のため、令和3年度に姫路大学畜産研究所を開設し研究活動を開始しました。

令和4年度には、通信制高等学校の開設に向けて準備を行います。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園は、近畿大学創立者世耕弘一先生の説かれた「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある」を建学の精神として、他人や自然を思いやる、いわゆる「共生の心」を備えた人材の育成を目的としています。

この建学の精神を具現化するために、次のような教育目標をかかげております。

- 第1は、「人間は人間だけで生きているのではなく、他の生命とともに、生かされているという認識をもつこと、そしてこの思想を推進するための実践力を培う」
- 第2は、「専門職業人としての基本的な倫理観を身につけるとともに思いやりの心を培う」
- 第3は、「専門職に必要な基礎的知識及び技術を修得するとともに、創造性を培う」
- 第4は、「社会・歴史に対する深い洞察力を身につけるとともに、豊かな人間性を培う」
- 第5は、「国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う」

II 事業計画の概要

(1) 中長期計画

法人の中長期計画の理念、目標、基本方針、主要対策は以下の通りです。

期間：令和2年度から令和7年度

●理念

建学の精神である

「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある」を実現する

●目標

I 実践的教育による学生の育成

II 質の高い研究成果の社会的還元

III 教育資源による地域貢献、企業貢献及び国際貢献

IV 教育・研究活動を維持する環境の整備

●基本方針

I-1 (1) 教育の付加価値向上

I-2 (2) キャリア教育の充実

II-1 (3) 特色ある研究によるプレゼンスアップ

III-1 (4) 地域の知的・実践的拠点として発信力向上

III-2 (5) グローバル人材の育成

IV-1 (6) 効果的な広報活動による入学志願者の増加

IV-2 (7) 財政基盤の安定化とガバナンスの強化

●主要対策

1-1 教育力の向上

1-2 教育効果の可視化

2-1 社会人力の向上

2-2 専門職への就職率向上

3-1 外部資金による研究の充実

3-2 研究成果の向上

4-1 教育・研究の地域への発信

4-2 自治体、企業等との連携強化

5-1 語学力の向上

5-2 国際交流の推進・強化

6-1 広報活動の質向上

6-2 入試制度改革

7-1 収入増加と管理経費抑制

7-2 組織改革と基幹人材育成

中長期計画とその進捗状況の詳細は、本法人のホームページに記載しております。

<https://koutoku.ac.jp/info/>

○令和3年度短期大学認証評価の結果について

豊岡短期大学は、一般財団法人大学・短期大学基準協会の認証評価を令和3年度に受審し、短期大学評価基準に適合していると認定されました。

評価結果の「三つの意見」では、「特に優れた試みと評価できる事項」として5項目、「向上・充実のための課題」として1項目、「早急に改善を要すると判断される事項」として2項目の指摘がありました。「早急に改善を要すると判断される事項」については、すでに対応しており、改善されたと認められた結果として、今回の適合の評価を頂いております。

認証評価結果を今後の中長期計画に反映させ、教育・研究のさらなる改善・充実に取り組んでまいります。

豊岡短期大学 評価HP

<https://koutoku.ac.jp/toyooka/outline/kouhyou/daisansha/>

○令和2年度大学評価（認証評価）結果について

姫路大学 評価HP

https://koutoku.ac.jp/himeji/university/informationdisclosure/evaluation_report/

(2) 予算編成の基本方針

令和4年度予算編成における基本方針とその概要について

令和3年12月10日
弘徳学園法人本部

○令和4年度予算編成の基本方針

私立学校をめぐる環境は、少子化による18歳人口の減少が続き、大学間の学生募集活動は熾烈を極めており、また、地球温暖化などの異常気象などがもたらす大きな環境変化など様々な諸問題により、私立学校の経営環境はこれまで以上に大変厳しい状況となっております。

こうした状況下にあつて、学園が、本来の目的である教育と研究を永続的に維持し、かつ教育の質の保証を図るためには、学園経営における「健全な財政の維持と発展」を目指すものでなければなりません、そのことは、中・長期計画と財政予測を踏まえた予算編成なくして実現できません。

もとより、予算編成の基本は、予算編成の過程において、各所管の意見がよく反映され、教育研究活動とその他の諸活動の計画が一体化した取組みが重要であり、諸活動のすべての領域を包含することに留意し、学生生徒等納付金を中心とする収入予算の編成についても、入学者の動向をよく見極め、実態に即した予算を編成することに心がけなければなりません。

上記のような観点から、学園の中期計画を基に、令和4年度の事業予算を含めた「学園全体の支出予算は、収入予算の範囲内」に抑えること、累積赤字の圧縮にむけ単年度収支の改善に努めることを目標とし、特に教育・研究経費に重点配分を行いながら、「収支の均衡」と「冗費の削減」を十分に考慮のうえ、「学校法人会計基準」、「勘定科目処理要領及び細則」に準拠した予算を編成することを基本方針とします。

なお、今日の学校経営は、財務情報はもちろんのこと、教育情報の公開が義務付けられ、経営の透明性と説明責任がより一層問われる時代であり、こうした時代の要請に応え得る予算を編成することが重要であります。

(3) 主な事業の目的・計画等

① 中長期計画に基づく令和4年度事業計画に係る経費は下記別表のとおりです。

別表

(単位：千円)

事業No.	対象学校	事業名	予算額
4- 1	法人本部	通信制高等学校校舎新築及び改修工事	220,000
4- 2	法人本部	通信制高等学校開設に伴う校具・教具・備品購入	57,618
4- 3	法人本部	通信制高等学校設置に伴う開設準備	21,000
4- 4	法人本部	姫路大学畜産研究所年次進行に伴う研究委託費	19,870
4- 5	姫路大学	姫路大学仮想サーバ機器更新	21,981
4- 6	姫路大学	姫路大学1号棟・旧2号棟図書館ネットワーク機器更新	4,775
4- 7	姫路大学	姫路大学 サーバ更新に伴う図書館システム更新	7,192
4- 8	姫路大学	姫路大学ICT活用指導力充実に向けた情報機器 (iPad) の購入	3,600
4- 9	姫路大学	姫路大学看護師国家試験対策	9,313
4- 10	姫路大学	姫路大学教員採用試験対策に伴う対策講座及び学生支援	5,192
4- 11	姫路大学	姫路大学附属健康・教育実践研究センター市民公開講座	680
4- 12	姫路大学	姫路大学と香港理工大学のMOU締結および短期留学受け入れプログラムの実施	826
4- 13	姫路大学	姫路大学教学マネジメントのための学修成果の可視化システムの導入	4,400
4- 14	姫路大学	姫路大学通信教育事務部システム改修	1,540
4- 15	姫路大学	姫路大学硬式庭球部運営および遠征業務委託費	15,000
4- 16	姫路大学	姫路大学サッカー部運営および業務委託費	3,720
4- 17	豊岡短大	豊岡短期大学姫路キャンパス旧2号棟大講義室プロジェクター入替工事	500
4- 18	豊岡短大	豊岡短期大学事務系サーバ機器更新	7,413
4- 19	豊岡短大	豊岡短期大学教学系サーバ機器および情報処理教室・研究室パソコン入替	25,000
4- 20	豊岡短大	豊岡短期大学認証評価 (第三者評価) 結果報告書の印刷	100
4- 21	豊岡短大	豊岡短期大学和花季ひろばの開催	970
4- 22	豊岡短大	豊岡短期大学サーバ更新に伴う図書館システム更新	7,285
4- 23	豊岡短大	豊岡短期大学TtLeSシステム改修	1,705
4- 24	こども園	こうのとりの認定こども園園内無線化工事及びICT化に伴うシステムの導入	3,310
事業合計			442,990

② 中長期計画に基づく令和4年度事業計画に係る事業等の概要は下記のとおりです。

(4-1) 通信制高等学校 校舎新築及び改修工事

(4-2) 通信制高等学校 開設に伴う校具・教具・備品購入

(4-3) 通信制高等学校 設置に伴う開設準備

令和5年度に開設を予定している通信制高等学校について、校舎新築ならびに既存建物改修工事を行うとともに、校舎完成後に校具・教具・備品、各種教材、図書等の整備を行う計画です。また、開校に向けた学生募集活動や現地での開設準備に係る経費を計上しています。

(令和4年3月現在申請中)

(4-4) 姫路大学畜産研究所年次進行に伴う研究委託費

姫路大学では、令和3年4月に姫路大学畜産研究所を開設し、3ヵ年計画で但馬牛のおいしさを医学的に探り、地域活性化に貢献する取組を行っており、本年度は2年目となります。美味しい牛肉がもたらす生理的効果（視覚・嗅覚・味覚）や美味しさに関わる各種要素の検証を行う計画です。

(4-12) 姫路大学と香港理工大学のMOU締結および短期留学受け入れプログラムの実施

姫路大学では、コロナ禍により延期となっていた、香港理工大学とのMOUの締結を進め、グローバルゲートウェイの一環として、短期留学受け入れプログラムの実施を計画しています。（コロナ感染状況による）

(4-13) 姫路大学教学マネジメントのための学修成果の可視化システムの導入

教学マネジメントによる大学評価（外部評価）及び大学の教育の質の向上のために、学修成果の可視化を行うことが求められており、既存の教学システムへの機能追加を行う計画です。

(4-15) 姫路大学硬式庭球部運営および遠征業務委託費

姫路大学では硬式庭球部の強化に力を入れており、平成29年度に関西学生リーグ1部へ昇格。平成30年度から国体に連続出場し、令和3年度には全日本大学対抗テニス王座決定試合で第3位の成績を収めました。

本年度も引き続き運営と遠征も含めた業務を委託し、育成選手の強化を図る計画です。

(4-16) 姫路大学サッカー部運営および業務委託費

姫路大学では、令和3年4月にデフ（ろう者）サッカー部を設立しました。デフ（ろう者）サッカーとは、聴覚障がいのある人が行うサッカーのことです。

姫路大学教育学部通信教育課程の学修制度を活用し、聴覚障がいを持つ学生に向け、修学支援および課外活動の支援を行う計画です。

また、あわせて地域貢献活動への展開も図る予定です。

(4-20) 豊岡短期大学認証評価（第三者評価）結果報告書の印刷

令和3年度に第三者評価機関による認証評価を受審し、適合認定を受けました。この結果の公表手段の一つとして、結果報告書を冊子にまとめ整備し、今後の指針とする計画です。

>>施設設備等に関する事業

姫路大学整備関係事業

(4-5) 姫路大学仮想サーバ機器更新

姫路大学の仮想サーバ老朽化に伴い更新を行う計画です。

(4-6) 姫路大学1号棟・旧2号棟図書館ネットワーク機器更新

姫路大学1号棟と図書館を中心とした旧2号棟のネットワーク機器の老朽化に伴い更新を行う計画です。

(4-7) 姫路大学サーバ更新に伴う図書館システム更新

姫路大学図書館システムは、平成26年度末に導入し7年以上経過しており、今年度実施予定のサーバリプレイスに合わせて、費用対効果を考慮し、必要十分な機能を備えた図書館システムへのリニューアルを計画しています。

(4-8) 姫路大学ICT活用指導力充実に向けた情報機器（iPad）の購入

令和4年度より教職課程において「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」に関する科目が必修科目として新設されるのを受け、教員を目指す学生の“ICT活用指導力”の向上を目的に、情報機器を整備する計画です。

(4-14) 姫路大学通信教育事務部システム改修

姫路大学通信教育事務部では、専門学校・学生機能についてシステムのオープン化及び、法改正への対応に伴う教務システムの改修を計画しています。

豊岡短期大学整備事業

(4-17) 豊岡短期大学姫路キャンパス旧2号棟大講義室プロジェクター入替工事

姫路キャンパス旧2号棟大講義室のプロジェクターは、大学開学以来入替を行っておらず、使用頻度も増加していることを鑑み、入替を行う計画です。

(4-18) 豊岡短期大学事務系サーバ機器更新

豊岡短期大学の事務系サーバの老朽化に伴い更新を行う計画です。

(4-19) 豊岡短期大学教学系サーバ機器および情報処理教室・研究室パソコン入替

豊岡短期大学の教学系サーバ機器および情報処理教室・研究室のパソコンは、平成27年度に導入し、入替目安の5年を経過しております。今後の円滑な教育研究活動のため、入替を行う計画です。

(4-22) 豊岡短期大学サーバ更新に伴う図書館システム更新

姫路大学図書館の図書館システム更新と同じく、サーバリプレイスに合わせて豊岡短期大学図書館システムのリニューアルを行う計画です。

(4-23) 豊岡短期大学TtLeSシステム改修

豊岡短期大学通信教育事務部の教務システム「TtLeS」において、令和6年度の社会福祉士国家試験に対応した新カリキュラムの運用開始に伴い、教務システムの一部カスタマイズを行う計画です。

こうのとりの認定こども園整備事業

(4-24) こうのとりの認定こども園園内無線化工事及びICT化に伴うシステムの導入

こうのとりの認定こども園の利便性向上を目的に無線LAN工事を行うとともに、教育保育の質の向上と教員の事務業務効率化を目的に園支援システムの導入を計画しています。

>> 学生のキャリア支援に関する事業

(4-9) 姫路大学看護師国家試験対策

看護学部の重要課題は看護師国家試験対策にあります。看護師国家試験合格率100%を目指し、看護学部全学年の全学生を対象として、集中講義ゼミや模擬試験を行うとともに、特に4年生には個々の学生の学習進度に応じ、補講や個人指導などをきめ細かく行っていく計画です。

(4-10) 姫路大学教員採用試験対策に伴う対策講座及び学生支援

教育学部の重要課題は教員採用試験対策にあります。学内においては3年生を対象に教員による面接指導や模擬授業指導および筆記試験対策を行っています。加えて教員採用試験本試験を見据え、学習の最終チェックや弱点補強に学外の模擬試験や講座などを取り入れ、きめ細かな学生支援を行っていく計画です。

また、遠方での受験に対して、学生の経済的負担軽減の観点により、二次試験以降の交通費等の補助を引き続き行う計画です。

>> 学術・研究・発表関連事業

(4-11) 姫路大学附属健康・教育実践研究センター市民公開講座

姫路大学附属健康・教育実践研究センターでは、「子どもから高齢者まで、健康と発達の向上にむけた研究および支援方法の開発を行い、相談活動や健康教室、講座等を通して地域社会に貢献すること」を目的とした啓発活動を行うため、市民公開講座を計画しています。

この公開講座により、大学が使命とする社会や地域への支援や貢献を果たすとともに、研究成果を広く公開することで、地域社会への知の還元を図ることが可能となります。

新型コロナウイルス感染拡大防止により、やむなく開催を断念しておりましたが、令和4年度は、感染防止対策を徹底のうえ市民公開講座を開催し、社会や地域への支援・協賛を行っていく計画です。

(4-21) 豊岡短期大学和花季ひろばの開催

豊岡短期大学では、学生の学修成果の発表の場として、双方向的表現活動による異世代間交流を但馬地域のこどもたちと保護者、本学学生が集い行う「育ちあいのなかまづくり」と、地産地消をテーマに地元但馬・丹後地域の魅力ある食を地域住民とともに楽しむ催し物「食のフェア」を、和花季ひろばとして新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底のうえ実施する計画です。

③ 経常的経費による活動

- ・ 姫路大学と豊岡短期大学では、「高等教育の修学支援新制度」の支援対象機関として認定されました。
この制度の他にも、授業料等を減免する形で、様々な本学園独自の奨学金制度を設け、学生の修学サポートを行っています。
- ・ 認定こども園では、外国人講師と常時接することにより、幼児期からのバイリンガル教育を行い、広く国際感覚を育成しています。
また、茶道を保育に取り入れ「和の文化」にも触れ、礼儀作法を身に付けるなど特色ある教育・保育を行っています。
その他にも、新型コロナウイルス感染状況を見ながら、地域の子育てに関する支援事業を行う予定です。

(4) 学園の将来構想

本学園における将来構想は、次の通りです。

- 1、姫路大学教育学部 学部・学科改編（通学・通信）構想
- 2、農学部（仮称）の設置構想

Ⅲ 財務の概要

(1) 予算の概要

① 資金収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	R4年度予算	R3年度予算(補正)	増 減	参考値(R2年度決算)	令和4年度予算概要
学生生徒等納付金収入	2,130,510	2,129,446	1,064	2,090,897	・授業料、入学金等の納付金
手数料収入	48,137	43,920	4,217	48,439	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	0	0	100	
補助金収入	469,420	432,231	37,189	433,403	・私立大学等経常費補助金他
資産売却収入	0	680	△680	85	
付随事業・収益事業収入	27,856	29,893	△2,037	19,508	・補助活動収入他
受取利息・配当金収入	41	21	20	34	・受取利息
雑収入	28,850	58,036	△29,186	45,093	・コピー代等その他の雑収入
借入金等収入	0	0	0	0	
前受金収入	315,337	272,133	43,204	288,366	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	47,968	74,457	△26,489	48,574	・預り金、前期末未収入金他
資金収入調整勘定	△285,219	△308,737	23,518	△336,611	・前期末前受金、期末未収入金
前年度繰越支払資金	1,136,992	1,135,809	1,183	1,157,293	・前年度末の現金預金
収入の部合計	3,919,892	3,867,890	52,002	3,795,182	

支出の部	R4年度予算	R3年度予算(補正)	増 減	参考値(R2年度決算)	令和4年度予算概要
人件費支出	1,648,314	1,645,583	2,731	1,647,869	・本俸、賞与、諸手当、福利費等
教育研究経費支出	822,834	712,543	110,291	699,934	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	273,892	267,695	6,197	225,287	・学生募集経費等管理的経費
借入金等利息支出	0	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	0	
施設関係支出	195,809	0	195,809	14,927	・建物、構築物等施設に関する支出
設備関係支出	109,002	44,631	64,371	48,035	・機器備品等設備に関する支出
資産運用支出	0	1,000	△1,000	0	
その他の支出	169,334	171,478	△2,144	136,401	・前期末未払金の支払等
予備費	10,000	10,000	0	0	・予備費
資金支出調整勘定	△110,162	△122,033	11,871	△113,080	・期末未払金等
翌年度繰越支払資金	800,869	1,136,992	△336,123	1,135,809	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	3,919,892	3,867,890	52,002	3,795,182	

※ 科目ごとに千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものであります。

② 事業活動収支予算の状況

(単位：千円)

		科目	R4年度予算	R3年度予算(補正)	増減	参考値(R2年度決算)	令和4年度予算概要
①教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,130,510	2,129,446	1,064	2,090,897	・授業料、入学金、実習料等の納付金
		手数料	48,137	43,920	4,217	48,439	・入学検定料等の手数料
		寄付金	0	2,046	△2,046	922	
		経常費等補助金	469,420	431,601	37,819	428,491	・国庫補助金等(施設整備関係除く)
		付随事業収入	27,856	29,893	△2,037	19,508	・補助活動収入他
		雑収入	28,850	57,886	△29,036	44,925	・コピー代等その他の収入
		教育活動収入計	2,704,773	2,694,792	9,981	2,633,184	◎経常的な教育活動に関する事業活動収入
事業活動支出の部	事業活動支出の部	科目	R4年度予算	R3年度予算(補正)	増減	参考値(R2年度決算)	令和4年度予算概要
		人件費	1,663,828	1,664,551	△723	1,663,747	・本俸他、退職給与引当金繰入額
		教育研究経費	1,004,971	954,239	50,732	945,522	・教材等教育研究経費及び減価償却
		管理経費	302,094	305,825	△3,731	260,675	・教研費以外の管理経費と減価償却
		徴収不能額等	0	0	0	0	
		教育活動支出計	2,970,893	2,924,615	46,278	2,869,944	◎経常的な教育活動に関する事業活動支出
教育活動収支差額			△266,120	△229,823	△36,297	△236,760	教育活動における事業活動収入と支出の差額
②教育活動外収入の部	収入の活動	科目	R4年度予算	R3年度予算(補正)	増減	参考値(R2年度決算)	令和4年度予算概要
		受取利息・配当金	41	21	20	34	・預金利息
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	
		教育活動外収入計	41	21	20	34	◎経常的な財務活動に係る事業活動収入
支出の活動	支出の活動	科目	R4年度予算	R3年度予算(補正)	増減	参考値(R2年度決算)	令和4年度予算概要
		借入金等利息	0	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	0	◎経常的な財務活動に係る事業活動支出
教育活動外収支差額			41	21	20	34	財務活動における事業活動収入と支出の差額
④ 経常収支差額			△266,079	△229,802	△36,277	△236,726	特殊要因を除いた経常的な事業活動収入と支出の差額
③特別収入の部	収入の活動	科目	R4年度予算	R3年度予算(補正)	増減	参考値(R2年度決算)	令和4年度予算概要
		資産売却差額	0	0	0	0	
		その他の特別収入	0	4,847	△4,847	9,012	
		特別収入計	0	4,847	△4,847	9,012	◎特殊な要因による臨時的な事業活動収入
	支出の活動	科目	R4年度予算	R3年度予算(補正)	増減	参考値(R2年度決算)	令和4年度予算概要
		資産処分差額	2,540	2,213	327	3,025	・固定資産の除却・廃棄損
	その他の特別支出	0	12	△12	84		
	特別支出計	2,540	2,225	315	3,109	◎特殊な要因による臨時的な事業活動支出	
⑤ 特別収支差額			△2,540	2,622	△5,162	5,904	◎特別収支の事業活動収入と支出の差額
〔予備費〕			10,000	10,000	0		
基本金組入前当年度収支差額			△278,619	△237,180	△41,439	△230,823	◎事業活動収入と支出の差額と等しい
基本金組入額合計			△284,783	△21,070	△263,713	△58,499	・第1号基本金及び第4号基本金
当年度収支差額			△563,402	△258,250	△305,152	△289,322	
前年度繰越収支差額			△3,787,574	△3,583,311	△204,263	△3,293,989	
基本金取崩額			0	53,987	△53,987	0	
翌年度繰越収支差額			△4,350,976	△3,787,574	△563,402	△3,583,311	
(参考)							
事業活動収入計			2,704,814	2,699,660	5,154	2,642,230	
事業活動支出計			2,983,433	2,936,840	46,593	2,873,053	

※ 科目ごとに千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※事業活動収支とは

事業活動収支とは、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入を事業活動収入、当該会計年度において消費する資産や役務の対価の合計を事業活動支出とし、この収入と支出について事業活動の内容により区分して計上し、基本金組入後の収支の均衡状態を明らかにすることを目的として作成するものです。

事業活動の区分は、①教育活動収支（特別収支と教育活動外収支を除くすべての収支）と②教育活動外収支（経常的な財務活動等）と③特別収支（特殊な要因により発生する臨時的な事業活動収支）の3つに区分されます。

また、①と②は経常的な経費として経常収支に区分し、特殊な要因（特別収支）を除いた経常的な事業活動収入と支出の差額を④経常収支差額とし、③特別収支は臨時的な事業活動収入と支出の差額を、⑤特別収支差額として明示しています。

※10ページの②事業活動収支予算の状況に、区分ごと①～⑤まで番号を表示

③ 予算概要の説明

学園中長期計画の理念・目標に基づき、基本方針に掲げている財政基盤の安定化を図るべく、主要対策の収入増加と管理経費抑制の取組に配慮して、事業計画及び経常予算を編成しております。

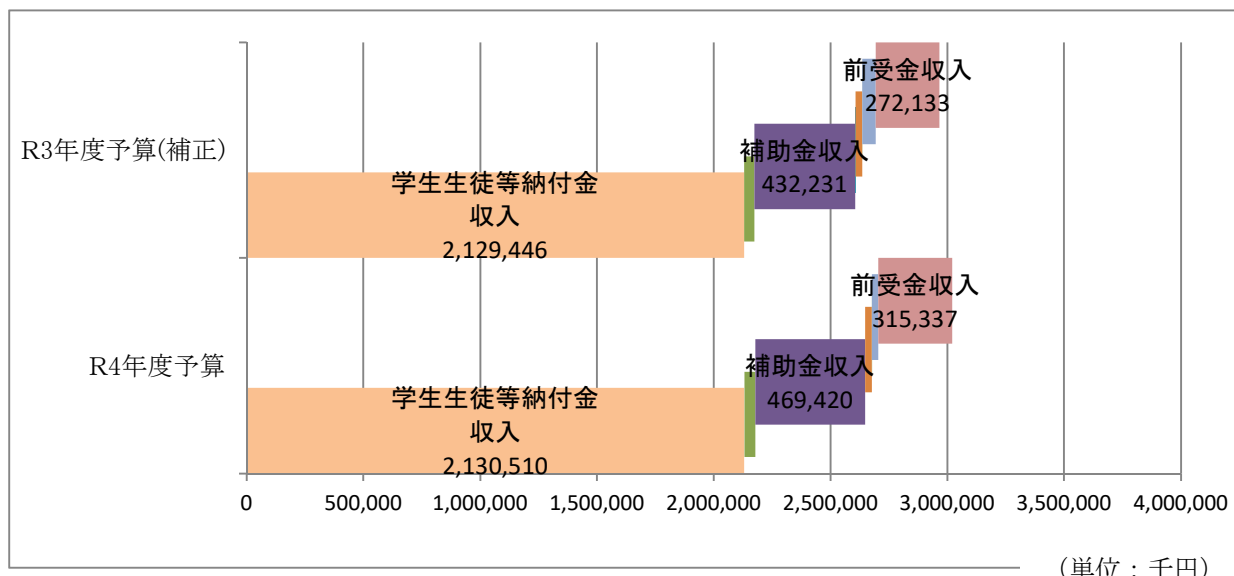
資金収支予算について

令和4年度の資金収支予算では、将来構想の一つである通信制高校の令和5年度開設を目指し、令和3年度に設置認可申請を行い、令和4年度には校舎新築・改修、備品等の整備にかかる大型の設備投資による支出予算を計上したことにより、翌年度に繰越すことになる、現金預金（翌年度繰越支払資金）は、大きく減少する見込みの予算となっています。

令和4年度資金収支予算における翌年度繰越支払資金、いわゆる現金預金の保有見込額は8億円で、参考値の令和2年度決算から3億3千4百万円の減少、前年度補正予算から3億3千6百万円の減少を見込んでいます。

（単位：百万円未満切捨）

資金収支収入予算における前年度収入予算（補正）との比較



事業活動収支予算について

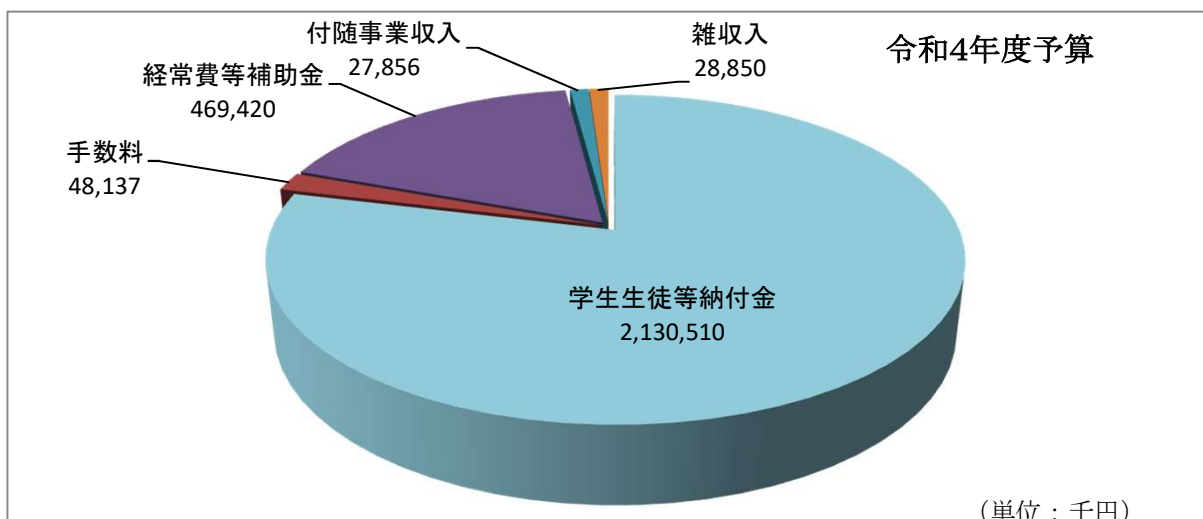
令和4年度の事業活動収支予算では、将来構想の一つである通信制高校の令和5年度開設を目指し、令和3年度に設置認可申請を行い、令和4年度には校舎新築・改修、備品等の整備にかかる大型の設備投資による支出予算と基本金への組入額を大きく計上したことにより、単年度の収支差額は支出超過が、そして翌年度繰越収支差額の累積支出超過も圧縮が図れない見込です。

令和4年度事業活動収支予算における経常収支差額（教育活動収支と教育活動外収支の差額の計）は、△2億6千6百万円です。こちらに特別収支差額と予備費を加えた、基本金組入前当年度収支差額は、△2億7千8百万円となる予測です。

この差額に通信制高校用に新築する建物や整備予定の備品等にかかる基本金額を組入した後の当年度収支差額は、△5億6千3百万円となります。そして前年度の繰越収支差額を調整した翌年度繰越収支差額は、△43億5千万円の累積の支出超過額となる予測で、引き続き累積の支出超過額を圧縮できない見込となります。

（単位：百万円未満切捨）

事業活動収支予算における収入の構成



事業活動収支予算における支出の構成

